

2019年度 活動報告書



公益社団法人 日本医療社会福祉協会

目 次

2019年度 各部・公益事業の主な活動報告

I. 公益目的事業1	2
II. 公益目的事業2	3
III. 公益目的事業3	12
IV. 公益目的事業4	12
V. 関連団体との連携＝法人事業	14
VI. 法人運営に関する事業の実施	16
2019年度 渉外関係活動報告	17
2019年度 研修プログラム	19

2019年度 公益事業の主な活動報告

I. 公益目的事業1 保健医療分野の福祉および社会福祉サービスに係る調査研究事業の実施

1. 医療ソーシャルワーカーの適正配置にかかわる調査研究事業の実施

1) 人生の最終段階における意思決定支援研修会の効果測定を行った。

(1) 本研修会（東京都、新潟県）の受講前後の効果測定を行い、有用性の評価をした。

(2) 結果は診療報酬改定の要望等で活用した。

(3) 人生の最終段階における意思決定支援に関わるシンポジウムを開催した（神奈川大会）。

2) 診療報酬・介護報酬改定への対応

(1) 2020年度診療報酬改定への要望書について検討し、提出した。

(2) 2021年度介護報酬改定への要望書について検討した。

(3) 厚生労働省中央社会保険医療協議会（中医協）、各審議会・検討会の動向把握を行った。

(4) 2020年度診療報酬説明会をweb方式で開催した（2020年3月28日・東京）。

3) 在宅医療における医療ソーシャルワーカーに対する取り組み

(1) 在宅療養支援診療所における医療ソーシャルワーク機能の把握を行った。

(2) 在宅医療ソーシャルワーカーの手引きの検討および作成を行った（2019年度勇美財団助成事業 2020年度完成予定）。

2. 医療機関等に所属する会員データの収集・分析に関する調査研究事業の実施

会員情報の把握に関する調査を実施し、公益に資する方策を検討・実施した。具体的には、全国の医療機関で、保健医療分野の福祉サービスを提供している機関の情報収集およびホームページに会員マップを掲載した。

3. 病院ソーシャルワーカーの業務指標開発に関する調査研究

1) データ集約事業

全国の「MANBO」を利用した医療機関からのデータの集約と集計を行うため、協会版集計システムの構築を検討し、リーフレットを作成し神奈川大会で配布した。

2) 「MANBO」普及事業

(1) 引き続き「MANBO」の普及を目的として全国大会にて相談窓口を設置した。

(2) 電子カルテ等と連動した販売形態を構築できるよう協議を進めた。

4. ソーシャルワーク実践のための倫理綱領の見直し

2014年7月の国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）総会で採択されたグローバル定義については、2015年2月に日本語訳が完成し、アジア地域展開案、日本展開について2017年6月、日本ソーシャルワーカー連盟として確定した。グローバル定義に即した「ソーシャルワーカーの倫理綱領」に関して、日本ソーシャルワーカー連盟（JFSW）の倫理綱領委員会で引き続き見直しを行い、2020年度の各構成団体の総会で新しい倫理綱領案を諮る段階に至った。

5. 国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）が主催する世界会議への参加
 - 1) 国際化時代に対応して諸外国のソーシャルワークおよび医療ソーシャルワーカーの現状と課題・今後のあり方等についての情報収集と調査研究（社会福祉士試験・振興センター助成事業）を行った。
 - 2) 9月17-20日インド・ベンガロールで開催された国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）アジア太平洋地域会議へ参加し、得られた知見を協会ニュース等で紹介した。
6. 1. から 5. までの事業について、個人情報保護や機密性に配慮しながら、調査結果や収集した成果を情報提供した。
 - 1) 会誌「協会ニュース」を年間4回（5月、8月、11月、2月）発行した。
 - 2) 機関誌「医療と福祉」を2回（5月、11月）発行すると共に、当協会のホームページの会員サイトで過去の論文の検索システムを広報した。
 - 3) 保健医療分野の福祉サービスに係る普及啓発を目的として、当協会のホームページを運営管理し、以下の情報発信をした。
 - (1) 一般市民に当協会が行っている(5)・(6)を含む公益目的活動に関する情報
 - (2) 研修制度見直しに関する情報
 - (3) 「会員サイト」の充実
 - (4) ソーシャルワーク専門職への情報
 - (5) 国民の利益の増進に役立つ情報
 - (6) その他、国民生活に関連する必要な情報

II. 公益目的事業2 保健医療分野の福祉サービスに携わる社会福祉士の専門知識および技術の習得および向上に資する研修事業の実施

1. 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰを実施した。
 - 1) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ【東京会場】（第80回医療ソーシャルワーカー初任者講習会）

期 日：2019年8月8日（木）～12日（月）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：現に保健医療分野のソーシャルワーカーとして従事する者であって、受講する年度の3月末日現在において実務経験が3年未満の者。

目 的：実務経験3年未満の医療ソーシャルワーカーに対し、医療ソーシャルワーカーとして必要な基礎的な知識・技術を習得してもらうことを目的とする。

内 容：別掲

修了者：140名
 - 2) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ【兵庫会場】（第81回医療ソーシャルワーカー初任者講習会）

期 日：2019年10月31日（木）～11月4日（月）

場 所：パーソルラーニング株式会社 スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）

修了者：85名

2. 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱを実施した。

1) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ【東京会場】

期 日：2019年7月13日（土）～15日（月）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験3年以上の現任者。

目 的：実務経験3年を超えた保健医療分野のソーシャルワーカーが標準的に行うべき業務を遂行できるよう、必要な知識技術を身につけ実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

修了者：75名

2) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ【福岡会場】

期 日：2019年10月12日（土）～14日（月）

場 所：パピヨン24（福岡県福岡市）

修了者：30名

3. 実習指導者養成認定研修を実施した。

1) 実習指導者養成認定研修【京都会場】

期 日：2019年9月14日（土）～16日（月）

場 所：京都リサーチパーク西地区（京都府京都市）

対 象：実習指導に悩まれている方や今まで実習指導を行ったことのない保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験3年以上の現任者。

目 的：社会福祉専門職の養成教育において、重要課程である実習現場での実習時に、有効な指導ができるように、現場のソーシャルワーカーを現場のスーパーバイザーとして養成することを目的とする。

内 容：別掲

修了者：36名

2) 実習指導者養成認定研修【東京会場】

期 日：2019年11月2日（土）～4日（月）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

修了者：64名

4. スーパーバイザー養成認定研修を実施した。

1) スーパーバイザー養成認定研修【東京会場】

期 日：2019年8月3日（土）～4日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：(1)～(4)のいずれか1つを満たしている者。

(1)当協会の認定医療社会福祉士登録者。

(2)当協会の研修①～②のいずれか1つを満たしている者。

①実習指導者養成認定研修修了者。

②ソーシャルワーク スキルアップ研修 スーパービジョン研修受講者。

(2010、2011、2014～2018年度)

(3)当協会のスーパーバイザー登録・紹介事業登録者。

(2003～2009年度実施事業)

(4)保健医療分野の現任者で組織の承諾が得られる者。

目的：保健医療分野におけるソーシャルワークサービスの充実、および、質の向上を図るため、スーパーバイザーを養成することを目的とする。

内容：別掲

修了者：42名

2) スーパーバイザー養成認定研修【京都会場】

期日：2019年9月7日(土)～8日(日)

場所：京都リサーチパーク東地区1号館(京都府京都市)

修了者：27名

5. 人材開発・養成講座を実施した。

期日：2020年2月2日(日)

場所：KFC Rooms(東京都墨田区)

対象：現任のソーシャルワーカー。

目的：ソーシャルワークの専門性をふまえた、人材育成・人材養成・人材開発の方法論を身につけることを目的とする。

内容：別掲

受講者：44名

6. ソーシャルワーク スキルアップ研修を下記の内容で11回実施した。

1) インテグレイティブ・ショートターム・トリートメント(統合的短期型支援)

期日：2019年11月30日(土)～12月1日(日)

場所：KFC Hall 2nd(東京都墨田区)

対象：実務経験3年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目的：近年の社会福祉などを取り巻く状況の変化に予知、短期の支援が要請されているため、ソーシャルワーク諸理論の統合的活用により、より効果・効率的支援(総合的短期支援)の技法を学ぶことを目的とする。

内容：別掲

受講者：43名

2) 面接技術 ～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～

期日：①2019年5月25日(土) ②7月6日(土) ③8月3日(土)

場所：KFC Rooms(東京都墨田区)

対象：原則として実務経験3年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目的：面接技術を向上させることにより、短時間に適切なアセスメントにつながる情報収集やクライアントとの関係性の構築を図ることを目標とし、そのために新しい手法の一つとしてソリューション・フォーカスト・アプローチの技術を学ぶことを目的とする。

とする。

内 容：別掲

修了者：40名

3) スーパービジョン

期 日：2020年2月9日(日)

場 所：ホテルチュールリッヒ東方2001(広島県広島市)

対 象：保健医療分野のソーシャルワーク実践者。

目 的：保健医療分野のソーシャルワーカーの実践力を向上させていくためには不可欠なスーパービジョンを講義と演習を通して学ぶ。

内 容：別掲

受講者：34名

4) 退院支援専門ソーシャルワーク研修【東京会場】

期 日：2019年9月7日(土)～8日(日)

場 所：KFC Hall 2nd(東京都墨田区)

対 象：退院支援ソーシャルワーク実践者。

目 的：急性期病院をはじめ保健医療分野のソーシャルワーカーは退院支援に多くの時間を取られている現状にあると思われます。診療報酬の動きをふまえ、われわれソーシャルワーカーも積極的にこの退院支援について考え学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

修了者：74名

5) 退院支援専門ソーシャルワーク研修【鹿児島会場】

期 日：2019年11月16日(土)～17日(日)

場 所：TKP ガーデンシティ鹿児島中央(大阪府大阪市)

修了者：33名

6) ソーシャルワーカーによる退院支援実践の自己評価とプログラム評価

期 日：2019年9月28日(土)～29日(日)

場 所：KFC Rooms(東京都墨田区)

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っている経験3年以上の現任者。

目 的：本研修の目的は、保健医療分野のソーシャルワーカーが自己評価とプログラム評価の2つの評価のアプローチを理解し、評価のスキルを活用できるようになることである。第一は、ソーシャルワーカーとしての確に退院支援に関与するための開発された指標(「ソーシャルワーカーによる退院における実践の自己評価」)を用いて、これまでの自らの実践を評価することを通して、実践力を高めることである。第二に、プログラム評価の基本を学び、病院組織での退院支援のプログラム評価を活用できるようになることである。これらのセッションを通して、退院支援におけるソーシャルワーカーの役割を理解することを期待する。

内 容：別掲

受講者：46名

7) ソーシャルワークにおける就労支援

期 日：2020年1月25日（土）

場 所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野における現任のソーシャルワーカー実践者。

目 的：働くがん患者への支援は、第2期がん対策推進基本計画（平成24年策定）より重点課題として明記されたほか、平成30年度からは一部診療報酬に組み込まれるなど、現在、仕事とがん治療の両立支援に関する体制整備が推進されているところである。本研修は、がん患者の就労問題に関する政策的な動向・がん治療に伴う身体変化の特徴等に関する理解を深め、がん患者の職業生活と治療の両立支援に関する実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：52名

8) 緩和ケアにおけるソーシャルワーク ～いのちに向き合う～

期 日：2020年2月26日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：緩和ケア領域で実践中、および関心をもつ現任のソーシャルワーカー。

目 的：緩和ケア対象の患者と家族へのソーシャルワークは、緩和ケア病棟に限らず、がん専門相談員としての実践や緩和ケアチームへの参入など、広く求められてきている。ソーシャルワーカーとしていかに向き合い支援していくか、緩和ケアにおけるソーシャルワークについて学びその実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：35名

9) ソーシャルワークにおける臨床倫理

期 日：2019年7月28日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：保健医療分野のソーシャルワーカーにとって「クライアントの自己決定を支援する」ことの重要性は論を待たない。しかし選択の局面は、クライアント自身が意思表示困難な場合や、選択に制限が生じる状況、様々な要因の絡み合いなど「自己決定を支援する」ことが、容易ではないことは少なくない。そうした状況を臨床倫理的な視点で捉え、ソーシャルワーク実践における臨床倫理について考えることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：62名

10) 認知症高齢者へのソーシャルワーク支援

期 日：2019年11月23日（土）

場 所：TKP 札幌カンファレンスセンター（北海道札幌市）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：近年、もの忘れ外来や、認知症疾患医療センターなどが医療機関に設置され、保健

医療分野のソーシャルワーカーが関わり、また、治療の継続や選択の局面、地域での生活支援など、専門診療科以外でも多くのソーシャルワーカーが関わっている。人権に基づく相談援助を行う専門職として、権利擁護や成年後見などの法的な枠組みを含めたソーシャルワーク支援を学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：31名

11) 家族療法から学ぶアセスメント

期 日：2019年5月26日(日)

場 所：KFC Rooms(東京都墨田区)

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：日々の業務に密接に関わる当事者と家族に対する理解をより深め、臨床に生かすことを目的に、家族療法の理論と実際について学ぶ。特に、家族療法の視点をふまえたアプローチの実際、基本的な考え方の応用を目指すことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：60名

7. 医療ソーシャルワーカー1日研修会を実施した。

1) フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会【大阪会場】

期 日：2019年5月12日(日)

場 所：大阪市社会福祉研修・情報センター(大阪府大阪市)

対 象：入職後2年未満の医療ソーシャルワーカー。

目 的：先輩や同期の仲間と交流を持ち、社会人の基礎や医療ソーシャルワーカーの心構えや知識、近隣の都道府県協会を知ることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：54名

2) フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会【東京会場】

期 日：2019年7月14日(日)

場 所：東京ファッションタウン(TFT)ビル(東京都江東区)

受講者：104名

3) フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会【北海道会場】

期 日：2019年9月1日(土)

場 所：国立病院機構北海道がんセンター(北海道札幌市)

受講者：36名

8. 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ・Ⅱ修了者、実習指導者養成認定研修修了認定者、スーパーバイザー養成認定研修修了者を集計したところ次のとおりであり、実習指導者の認定者については厚生労働省に届出等を行った。

2020年3月31日現在の修了者数の累計

医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ修了者 : 2,496名

医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ修了者	： 1,322 名
実習指導者養成認定研修修了認定者	： 1,389 名
スーパーバイザー養成認定研修修了者	： 501 名

9. 研修統括事業部会内委員会

1) 実習指導者養成研修運営委員会

実習指導者養成認定研修を2回実施した。なお、実習指導者養成認定研修は、社会福祉士実習指導者講習会として厚生労働省より認められているので、前記8.のとおり厚生労働省に届出等を行った。

2) 研修事業検討委員会

外部の有識者を交え1回開催し以下の検討を行った。

- ①基幹研修Ⅰの運営方法および研修内容についての検討。
- ②基幹研修Ⅱの運営方法および研修内容についての検討。

10. 第39回日本医療社会事業学会の開催

2019年6月7日(金)～9日(日)、川崎市コンベンションホール(神奈川県川崎市)にて第67回大会・第39回学会を実行委員会とともに開催した。

11. 第19回都道府県研修担当者会議の実施

第67回日本医療社会福祉協会全国大会に併せ実施した。

12. 講師紹介(派遣)事業については、7件紹介した(うち1件は新型コロナウイルスにより中止)。

13. 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修(医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅲ)

当協会の研修体系を整理し、研修名として医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅲを追加した。

第15期の受講者への通信授業を実施した(44名)。

当協会と(公社)日本社会福祉士会との共同事業である保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修を運営し、第15期のスクーリングを実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響で開催延期となった。

14. 身寄りがない患者受け入れマニュアル作成に資する研修を実施した。

1) 身寄りがない患者受け入れマニュアル作成に資する研修【東京会場】

期 日：2019年11月10日(日)

場 所：三井記念病院(東京都千代田区)

対 象：身元保証人問題に関心のある保健医療分野のソーシャルワーカー、地域包括支援センター、行政関係者。

目 的：身元保証のない人でも安心して入退院できるためには、ソーシャルワーカーは正確な認識のもと、実践していく必要がある。最新の動向や法的根拠を学び、権利擁護の視点でソーシャルワーカーが実践していけることを目的とする。

院内での活動や地域での活動にも焦点をあて、MSW が権利擁護の視点から地域社会資源を活用・連携してマニュアルやガイドラインづくりに参加できるようになることを企図している。

内 容：別掲

受講者：74 名

2) 身寄りがない患者受け入れマニュアル作成に資する研修【京都会場】

期 日：2019 年 12 月 15 日（日）

場 所：京都リサーチパーク西地区（京都府京都市）

受講者：80 名

15. 人権擁護とソーシャルワーク研修を実施した。

1) 人権擁護とソーシャルワーク研修【愛知会場】

期 日：2019 年 10 月 6 日（日）

場 所：国立病院機構名古屋医療センター（愛知県名古屋市）

対 象：ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、看護師等医療職、福祉介護教育従事者等。

目 的：本研修は、医療ソーシャルワーカーやその地の専門職が「人権擁護」の視点から、対象者を取り巻く社会現象を理解し、参加者それぞれの立場における支援を考えるものです。2016 年度～2018 年度に引き続き、上記研究班との共催のもと「HIV 陽性者の支援」をテーマに開催します。

抗 HIV 治療の進歩により HIV 陽性者の生命予後は劇的に改善し、良好なコントロールのもとで通常の社会生活が送れるようになりました。それに伴って HIV 陽性者も高齢化し、非 HIV 関連疾患（脳梗塞、糖尿病、がん等）の発症や社会生活上に様々な課題を抱える方が増えています。全国的にみると、HIV 陽性者の居住地や通院先には大きな偏りがあります。

地域で共に生きる HIV 陽性者を支えるため、HIV 感染症/AIDS 医療体制の変遷と、地域が抱える HIV 陽性者支援に関する課題や問題を知り、顔の見える連携の輪のもと、参加者が主体的に明日からの支援に関われるようになることを目的とします。

内 容：別掲

受講者：42 名

2) 人権擁護とソーシャルワーク研修【大阪会場】

期 日：2019 年 10 月 26 日（日）

場 所：国立病院機構大阪医療センター緊急災害医療棟研修室（大阪府大阪市）

受講者：33 名

16. 人生の最終段階における意思決定支援研修会を実施した。

1) 人生の最終段階における意思決定支援研修会【東京会場】

期 日：2019 年 10 月 19 日（土）～20 日（日）

場 所：アーバンネット神田カンファレンス（東京都千代田区）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っている医療ソーシャルワーカー。

目 的：人生の最終段階の意思決定の場面において、医学的適応だけではなく、その方が今後の人生をどのように生きたいか、どのように過ごしたいかの相談支援もふくまれる。合意形成に向けたチーム医療の実現とクライアントにどのように向き合い支援をするかを学び、実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

修了者：82名

2) 人生の最終段階における意思決定支援研修会【新潟会場】

期 日：2019年11月23日（土）～24日（日）

場 所：新潟医療人育成センター（新潟県新潟市）

修了者：44名

17. 在宅医療ソーシャルワーク研修会を実施した。

期 日：2019年11月17日（日）

場 所：AP 秋葉原（東京都台東区）

対 象：在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅医療介護連携支援センターに勤務している（または予定の）ソーシャルワーカー。

目 的：近年、地域包括ケアシステムの推進と在宅医療の普及が求められる中で、在宅療養支援診療所などの在宅医療の現場で働くソーシャルワーカーに期待が寄せられている。そこで、地域で暮らしている人びとの Well-being の増進と地域への貢献をめざし、①在宅医療ソーシャルワーカーによる支援の質の向上、②ネットワークづくりを目的とする。

内 容：別掲

受講者：39名

18. 老健ソーシャルワーク研修会を実施した。

期 日：2019年9月7日（土）

場 所：パーソルラーニング株式会社 スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）

対 象：老人保健施設の支援相談員（ソーシャルワーカー）。

目 的：老人保健施設は介護を必要とする高齢者の自立を支援し、住み慣れた家庭や地域への復帰を目指すための施設である。在宅ケア支援や近年は看取り介護への支援の役割も担っていることを考えると、地域包括ケアシステムの中心的施設であり、その中核を担う支援相談員（ソーシャルワーカー）の役割は重要である。本研修会は全国老人保健施設協会の協力を得て、支援相談員のソーシャルワーク機能の資質向上を目的とする。

内 容：別掲

受講者：45名

19. 全日本病院協会と協力して「病院医療ソーシャルワーカー研修会」を実施した（2回）。

Ⅲ. 公益目的事業3 認定医療社会福祉士制度の整備並びに資格の付与に関する事業の実施

1. 2019年度の認定審査

1) 2018年度認定者に認定・資格付与を実施した。

2018年度新規申請 合格者 14名

2018年度更新申請 合格者 24名

2) 2020年3月7日に認定審査を行った。

2019年度新規申請 合格者 30名

2019年度更新申請 合格者 16名

2. 認定機構認定社会福祉士認定研修を実施予定だったが、新型コロナウイルスの影響で開催延期となった。

3. 認定医療社会福祉士の普及促進活動

協会ニュースに、毎号、記事を掲載し、その他ホームページ、チラシ等で促進のための広報活動を行った。

4. 認定機構スーパービジョン説明会を実施した。

1) 令和1年度スーパービジョン説明会【東京会場】

期 日：2019年8月4日（日）

会 場：KFC Rooms（東京都墨田区）

修了者：25名

2) 令和1年度スーパービジョン説明会【京都会場】

期 日：2019年9月8日（日）

会 場：京都リサーチパーク東地区1号館（京都府京都市）

修了者：19名

5. 認定機構の認証研修申請を実施し、以下の研修の認証を受けた。

保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修（医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅲ）

「理論・アプローチ別科目」 1単位

「地域における生活支援」 1単位

Ⅳ. 公益目的事業4 社会貢献に関する事業の実施

1. 「患者・家族のための権利擁護活動」の実施

1) 「患者の権利法をつくる会」活動に参画し、患者の権利が適切に実現できる医療現場の基盤づくりを目指す中で、「福祉援助業務」の根付く土壌が明記された医療基本法の制定を求めていく。WHO憲章の定義に明記されているように、ソーシャルウエルビーイングの視点を含む「医療」を目指そうとする医療基本法の制定に向けて、関係団体と協力し、議員、関係機関への働きかけ、

会員、市民への啓発活動を行った。

- | | | |
|-------|-----------------------|--------|
| 4/10 | 第2回「医療基本法制定にむけた議員連盟」於 | 参議院会館内 |
| 4/18 | 第3回「医療基本法制定にむけた議員連盟」於 | 参議院会館内 |
| | 第4回「医療基本法制定にむけた議員連盟」於 | 参議院会館内 |
| 10/25 | 第5回「医療基本法制定にむけた議員連盟」於 | 参議院会館内 |
| 1/18 | 患者の権利法を作る会世話人会と3団体協議会 | |
| 2/14 | 患者の権利法を作る会世話人会と3団体協議会 | |
| 3/28 | 患者の権利法を作る会世話人会と3団体協議会 | |

2) 「人権擁護と医療ソーシャルワーク」活動の実施

① 「身元保証人問題」

- ・当協会が研究協力者として参加した、厚生労働省医政局総務課から発出された「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」等に関して依頼の7件の講演・研修活動を行った。
- ・全国大会でシンポジウムを開催した。

② 「HIV 陽性者（または陽性患者）へのソーシャルワーク」

- ・「HIV 感染者の医療体制の整備に関する研究班」メンバーと研修に関して協議を行った。

2. 「患者・元患者のための支援活動」の実施

ハンセン病回復者および家族等支援活動

ハンセン病回復者および家族の地域生活を支える活動（ハート相談センター）の運営に協力する。

高齢化が進む回復者と家族の個別支援、相談支援を全国の担当者と連携して行った。

ハート相談センター東京支援会議	1回/月	第3水曜日開催
全国担当者会議	1回/年	2019年度は中止

3. 「災害支援活動」の実施

- 1) 2011年から継続している宮城県石巻市の委託事業を2019年度も継続した。「仮設住宅被災者自立生活支援事業」として復興公営住宅への移行支援を今年度は3人体制で取り組んだ。

災害支援体制

	担当者氏名	役職	拠点住所
本部 事務所	笹岡 眞弓	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム統括責任者	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
	相原 和子	日本医療社会福祉協会 スーパーバイザー	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
	西田知佳子	日本医療社会福祉協会 スーパーバイザー	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
	金子小夜子	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム事務担当	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
石巻 事務所	福井 康江	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地責任者	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟
	清水 大地	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地担当	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟
	平野 裕司	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地担当	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟

2) 国内外の被災地において活動する、または活動した実績のある団体と連携し、災害が発生した場合に被災者に対して提供すべき福祉サービスの内容と提供するための方策について、情報交換する活動を継続した。

4. 「国際的社会貢献活動」の実施

公益財団法人国際医療技術財団（JIMTEF）との連携会議に出席した。（1回）

V. 関連団体との連携＝法人事業

1. 厚生労働省

- 健康局がん・疾病対策課：「循環器病対策推進協議会」
- 社会・援護局障害福祉課：「アルコール健康障害対策関係者会議」
- 子ども家庭福祉に関し専門的な知識・技術を必要とする支援を行う者の資格のあり方その他資質の向上策に関するワーキンググループ

2. 日本ソーシャルワーカー連盟（JFSW）としての活動に参加した。

- 1) 代表者会議で専門職としての連携のあり方等について意見交換を行った。
- 2) ハンセン病回復者および家族への支援（ハート相談センター運営に参加）を行った。
- 3) 国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）の活動を中心に国際支援活動等を行った。
- 4) 倫理綱領の見直しを行った。
- 5) ソーシャルワーカーデーの企画運営を行った。

3. ソーシャルケアサービス従事者研究協議会（SCS）への参加

- 1) ソーシャルケアの専門性についての調査研究活動を行った（3年目）（社会福祉試験・振興セン

ター助成)。

2) 衆参国会議員の超党派による「地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟」の創設に協力した。

第1回総会(6/6): 設立総会

第2回総会(11/12)

テーマ: 都道府県における災害派遣福祉チーム(DWAT/Disaster Welfare Assistance Team)への社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士の位置付けの明確化

4. チーム医療推進協議会

「チーム医療」の発展のために本協議会の活動に参加した。

1) 理事会(年6回)

2) 総会(年2回)

3) 会長懇談会(年1回)

5. 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク活動

在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク活動に参加を検討したが、今年度は保留とした。

6. 難病患者支援活動

JPA フォーラムに東京都協会と協力して活動支援、参加周知した。

団体共催金を拠出した。

7. アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク

研修や調査およびその他企画に協力した。

8. 国民医療推進協議会

集会に参加した。

9. 公益社団法人全日本病院協会加入病院における医療ソーシャルワークの質の向上のため、研修や

調査およびその他企画に協力した。

10. 国民医療推進協議会

アピール活動に協力した。

11. 救急認定ソーシャルワーカー認定機構

理事会に参加した。

VI. 法人運営に関する事業の実施

1. 会員情報の把握に関する調査等を実施し、入会促進に関する方策について検討した。
 - 1) 会員名簿を管理した。
 - 2) 入退会者を把握した。
 - 正会員 入会（419名）、退会（437名）
 - 賛助会員 入会（個人39名、団体1団体）、退会（個人32名、団体3団体）
 - 3) 入会促進のために、新入会員から入会動機の調査を行った。
 - 4) 全国医療ソーシャルワーカー協会会長会の事務局を担当し2019年度内に6月7日（神奈川県）、9月21日（大阪府）において会長会会議、また8月18日に東京都において役員会を開催した。都道府県単位の医療ソーシャルワーカーの団体との連携を充実させた。
 - 5) 永年会員表彰者の選定および表彰を実施した。
2. 理事会で承認を得た2019年度事業計画および予算を内閣府に提出した。
3. 当協会の法人としての運営に係る事業を実施した。
 - 1) 定期社員総会を2019年6月7日神奈川県にて開催した。
 - 2) 全国大会開催に関する業務を担当した。
 - (1)2019年6月7日～6月9日神奈川県にて第67回大会を開催（一般社団法人神奈川県医療ソーシャルワーカー協会と共催）。
 - (2)第68回大会開催準備を、一般社団法人愛知県医療ソーシャルワーカー協会と共同で行った。
 - (3)第69回大会・第70回大会の開催地決定や会場確保などの準備を進めた。
4. 会員の社会活動を支援するための社会活動補助事業を行う申請者はいなかった。
5. 本会の財産管理および出納に関する業務を行った。
6. 情報公開関係
7. ホームページ維持管理
ホームページ担当チームでは、ホームページ（協会本体・災害対策本部）の運営管理を行った。
8. その他、上記の業務以外代表理事から指示された特定の業務を行った。

2019年度 渉外関係活動報告

分類	主な活動内容
<p>厚生労働省 その他行政機関関係</p>	<p>厚生労働省 医政局地域医療計画課在宅医療推進室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/1～8/31 松重明氏が当協会から研修生として配属 ・12/1～3/31 西出慎吾氏が研修生として配属 <p>社会・援護局障害福祉課アルコール健康障害対策関係者会議 稗田里香氏が委員として参加 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000167071_450973.html</p> <p>子ども家庭福祉に関し専門的な知識・技術を必要とする支援を行う者の資格の在り方その他資質の向上策に関するワーキンググループ 佐藤杏氏が委員として参加 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-kodomo_554389_00011.html</p> <p>健康局がん・疾病対策課：「循環器病対策推進協議会」 早坂会長が委員として参加 https://www.mhlw.go.jp/content/12205250/000592558.pdf</p>
<p>日本ソサエティ</p>	<p>あり方検討プロジェクト：4/5、6/28、8/9、12/20、2/7 倫理綱領検討委員会：4/19、5/19、8/23、11/8、1/10 代表者会議：4/5、6/28、8/9、10/6、12/20、2/7 国際委員会：5/18、8/3、10/5、12/7、2/1 ハンセン委員会：4/15、6/19、8/9、9/5、10/4、11/11、12/17、1/29、2/17 事務局長会議：8/6、3/27 IFSW-AP 参加：9/17～20（インド ベンガロール）</p>
<p>SCS</p>	<p>代表者会議：4/19、5/28、8/22、12/13、3/13 研究事業会議：5/28 賀詞交歓会：1/23</p>
<p>チーム医療推進協議会</p>	<p>第1回総会（早坂、高橋）：5/23 第2回総会 3/26 新型コロナウイルス関係で延期 理事会（早坂）：4/15、7/8、9/9、11/11、1/14、3/9 会長懇談会（早坂）：12/3 研修会（早坂、高橋）：10/26 テーマ「脳卒中・循環器病対策基本法とチーム医療」 学会（早坂、高橋）：2/16「患者さんとともにあるチーム医療」 http://www.team-med.jp/archives/active/2019-team-event</p>

<p>認定社会福祉士 認定・認定機構</p>	<p>総会（定時・臨時）：2回（早坂、片岡） 理事会：3回（早坂、片岡） 認定社会福祉士7,000人達成に向けたタスクフォース：5回（野口、名田部） 研修認定委員会（4回） 研修認定審査委員会（研修認定委員会内で開催） SV企画運営委員会（5回） 個人認定委員会（4回） 苦情対応委員会（0回）</p>
<p>救急認定ソーシャル ワーカー機構</p>	<p>第14回救急認定ソーシャルワーカー認定研修・試験 認定者数：244名 https://sites.google.com/site/emergencysocialworker/</p>
<p>全日本病院協会</p>	<p>MSW研修会：7/27、28 多職種研修会：2/1、2</p>

2019年度 研修プログラム

2019年度医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰプログラム

【東京会場】(第80回医療ソーシャルワーカー初任者講習会)

日	時	講義名	講師
8/8 (木)	10:00～ 10:15	開講式・オリエンテーション	研修統括事業部
	10:15～ 11:15	Session 1 厚生労働行政の動向	国立保健医療科学院 玉置 洋
	11:30～ 12:30	Session 2 日本における医療ソーシャルワークの成立と課題	北里大学病院 早坂由美子
	13:30～ 15:00	Session 3-8 生活機能障害とソーシャルワーク	やわたメディカルセンター 林 真紀
	15:15～ 17:15	Session 7 支援方法論 チーム医療と地域連携	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史
8/9 (金)	9:00～ 10:30	Session 3-2 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識② 脳卒中と連携パス	初台リハビリテーション病院 医師 菅原 英和
	10:45～ 12:15	Session 6 診療報酬とソーシャルワーク	西岡病院 岡村 紀宏
	13:15～ 14:45	Session 3-3 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識③ がん	武蔵野赤十字病院 医師 中根 実
	15:00～ 16:30	Session 3-4 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識④ 緩和ケア	国立がん研究センター東病院 医師 松本 禎久
	16:45～ 18:15	Session 3-7 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑦ 在宅療養	みその生活支援クリニック 医師 小野沢 滋
8/10 (土)	9:00～ 10:30	Session 1 1 医療ソーシャルワークと記録	国立病院機構神奈川病院 水野 茂樹
	10:45～ 12:45	Session 1 0 支援方法論 アセスメントⅠ	静岡県立静岡がんセンター 福地 智巴
	13:45～ 15:55	Session 4 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅰ	国家公務員共済組合連合会斗南病院 保科 健
	16:10～ 17:40	Session 3-1 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識① 糖尿病と合併症	医療法人社団松和会 医師 谷亀 光則
8/11 (日)	9:00～ 10:30	Session 3-5 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑤ アルコール関連問題とアディクション	まこと心のクリニック 医師 山田 耕一
	10:45～ 12:15	Session 5 社会保障制度とソーシャルワーク	横浜市立大学附属病院 友田 安政
	13:15～ 14:45	Session 3-6 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑥ 認知症	北里大学 精神科学 医師 新井 久稔
	15:00～ 18:10	Session 9 支援方法論 ミクロ・メソ (自己理解・他者理解・コミュニケーションスキル・面接技術)	東京福祉大学 中里 哲也
8/12 (月)	9:00～ 12:10	Session 8 医療における『家族』の理解	国立成育医療研究センター 佐藤 杏
	13:10～ 15:10	Session 1 2 事例検討の方法と実践の検証	ときわ会グループ 鈴木 幸一
	15:10～ 15:25	閉講式	研修統括事業部
	15:25～ 15:45	アンケート等の記入	研修統括事業部

【兵庫会場】(第81回医療ソーシャルワーカー初任者講習会)

日	時	講義名	講師
10/31 (木)	10:30~ 10:45	開講式・オリエンテーション	研修統括事業部
	10:45~ 11:45	Session 1 厚生労働行政の動向	福知山公立大学 岡本 悦司
	12:00~ 13:00	Session 2 日本における医療ソーシャルワークの成立と課題	一般社団法人TMG本部 野口 百香
	14:00~ 15:30	Session 3-8 生活機能障害とソーシャルワーク	やわたメディカルセンター 林 真紀
	15:45~ 17:15	Session 3-4 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識④ 緩和ケア	真星病院 医師 愛新 啓志
11/1 (金)	9:00~ 10:30	Session 5 社会保障制度とソーシャルワーク	広島文化学園大学 大塚 文
	10:45~ 12:15	Session 1 1 医療ソーシャルワークと記録	大阪急性期・総合医療センター 佐原 直幸
	13:15~ 14:45	Session 6 診療報酬とソーシャルワーク	苫小牧市立病院 梅木 秀俊
	15:00~ 16:30	Session 3-2 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識② 脳卒中と連携パス	森之宮病院 医師 宮井 一郎
	16:45~ 18:15	Session 3-3 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識③ がん	神戸赤十字病院 医師 黒田 浩平
11/2 (土)	9:00~ 10:30	Session 3-6 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑥ 認知症	六甲アイランド甲南病院 医師 小倉 純
	10:45~ 12:15	Session 3-7 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑦ 在宅療養	尼崎医療生活協同組萌クリニック 医師 宮城 和男
	13:15~ 15:15	Session 7 支援方法論 チーム医療と地域連携	東神戸病院 才田 靖人
	15:30~ 17:30	Session 1 0 支援方法論 アセスメント I	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
11/3 (日)	9:00~ 12:10	Session 8 医療における『家族』の理解	愛仁会井上病院 田口真規子
	13:10~ 15:20	Session 4 医療ソーシャルワークの価値と倫理 I	国家公務員共済組合連合会斗南病院 保科 健
	15:35~ 18:45	Session 9 支援方法論 ミクロ・メゾ (自己理解・他者理解・コミュニケーションスキル・面接技術)	東京福祉大学 中里 哲也 北海道循環器病院 笠間 沙織
11/4 (月)	9:00~ 10:30	Session 3-1 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識① 糖尿病と合併症	神戸赤十字病院 医師 川島 邦博
	10:45~ 12:15	Session 3-5 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑤ アルコール関連問題とアディクション	ひがし布施クリニック 医師 辻本 士郎
	13:15~ 15:15	Session 1 2 事例検討の方法と実践の検証	済生会京都府病院 島田 浩
	15:15~ 15:30	閉講式	研修統括事業部
	15:30~ 15:50	アンケート等の記入	研修統括事業部

2019 年度医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱプログラム

【東京会場】

日	時	講 義 名	講 師
7/13 (土)	10:00~ 10:10	開講式・オリエンテーション	研修統括事業部
	10:10~ 12:10	Session1 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅱ	田園調布学園大学 松本 葉子
	13:10~ 15:50	Session2 医療ソーシャルワーク業務改善・開発とマネジメント	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史
	16:05~ 18:45	Session3 支援方法論 地域連携とネットワーキング	JCHO 横浜中央病院 佐野 晴美
7/14 (日)	9:30~ 11:30	Session4 医療ソーシャルワークのアドボカシー	国立病院機構まつもと医療センター 植竹 日奈
	12:30~ 14:50	Session6 ソーシャルワークリサーチ	東京福祉大学 中里 哲也
	15:05~ 17:25	Session7 スーパービジョン	札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子
7/15 (月)	9:00~ 14:40	Session5 支援方法論 アセスメントⅡ	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	14:40~ 15:10	Session5 レポート課題作成	研修統括事業部
	15:10~ 15:25	閉講式	研修統括事業部

【福岡会場】

日	時	講 義 名	講 師
10/12 (土)	9:30~ 9:40	開講式・オリエンテーション	研修統括事業部
	9:40~ 12:20	Session3 支援方法論 地域連携とネットワーキング	広島文化学園大学 大塚 文
	13:20~ 15:20	Session4 医療ソーシャルワークのアドボカシー	国立病院機構大阪医療センター 岡本 学
	15:35~ 18:15	Session2 医療ソーシャルワーク業務改善・開発とマネジメント	悠紀会病院 久保 茂樹
10/13 (日)	10:00~ 12:00	Session1 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅱ	大阪人間科学大学 大野まどか
	13:00~ 17:40	Session5 支援方法論 アセスメントⅡ	静岡県立静岡がんセンター 福地 智巴
10/14 (月)	9:30~ 11:50	Session6 ソーシャルワークリサーチ	久留米大学 片岡 靖子
	11:50~ 12:20	Session6 レポート課題作成	研修統括事業部
	13:20~ 15:40	Session7 スーパービジョン	大阪急性期・総合医療センター 佐原 直幸
	15:40~ 16:10	Session7 レポート課題作成	研修統括事業部
	16:10~ 16:25	閉講式	研修統括事業部

2019 年度実習指導者養成認定研修プログラム

【京都会場】

日	時	内 容	講 師
9/14 (土)	13:00~13:30	オリエンテーション等	講師 日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 ファシリテーター 大阪急性期・総合医療センター 佐原 直幸 札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子 西片医療福祉研究会 山田美代子
	13:30~14:55	実習指導概論	
	15:05~16:35	実習マネジメントⅠ	
	16:45~17:15	実習マネジメントⅡ	
	17:15~18:50	実習プログラミングⅠ	
	18:50~19:00	フィードバック	
9/15 (日)	9:30~10:35	実習プログラミングⅡ	
	10:45~12:00	実習評価	
	13:00~14:25	人の尊厳	
	14:35~17:00	実習スーパービジョン1	
	17:10~17:40	フィードバック	
9/16 (月)	9:30~10:20	実習スーパービジョン2	
	10:20~12:30	実習スーパーバイザー会議1	
	13:30~14:00	実習スーパーバイザー会議2	
	14:00~14:30	フィードバック	
	14:30~14:45	チェックリスト	
	15:00~15:30	全体フィードバック	
	15:30~16:30	まとめ	

【東京会場】

日	時	内 容	講 師
11/2 (土)	13:00~13:30	オリエンテーション等	講師 日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 ファシリテーター 大阪急性期・総合医療センター 佐原 直幸 札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子 西片医療福祉研究会 山田美代子
	13:30~14:55	実習指導概論	
	15:05~16:35	実習マネジメントⅠ	
	16:45~17:15	実習マネジメントⅡ	
	17:15~18:50	実習プログラミングⅠ	
	18:50~19:00	フィードバック	
11/3 (日)	9:30~10:35	実習プログラミングⅡ	
	10:45~12:00	実習評価	
	13:00~14:25	人の尊厳	
	14:35~17:00	実習スーパービジョン1	
	17:10~17:40	フィードバック	
11/4 (月)	9:30~10:20	実習スーパービジョン2	
	10:20~12:30	実習スーパーバイザー会議1	
	13:30~14:00	実習スーパーバイザー会議2	
	14:00~14:30	フィードバック	
	14:30~14:45	チェックリスト	
	15:00~15:30	全体フィードバック	
	15:30~16:30	まとめ	

2019年度スーパーバイザー養成認定研修プログラム

【東京会場】

日	時	講義内容	講師
8/3 (土)	9:30~ 10:00	オリエンテーション	ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 東海大学 堀越由紀子 日本社会事業大学 小原真知子
	10:00~ 10:10	評価尺度（事前）作成	
	10:10~ 13:00	Session 1 スーパービジョンを技術だけではなくスーパービジョン体制として理解する Session 2 包括的スーパービジョン体制を稼働させる	
	14:00~ 16:50	Session 3 スーパービジョン体制の構成理論 Session 4 スーパービジョン体制の様式・形態・課題	
	17:00~ 19:50	Session 5 組織におけるスーパービジョン体制の意義	
	19:50~ 20:00	アンケートの記入	
8/4 (日)	9:30~ 12:10	Session 6 スーパービジョンの計画作り 全体のまとめ・質疑応答	
	12:10~ 12:20	評価尺度（事後）作成	
	12:20~ 12:30	アンケートの記入	

【京都会場】

日	時	講義内容	講師
9/7 (土)	9:30~ 10:00	オリエンテーション	ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 東海大学 堀越由紀子 日本社会事業大学 小原真知子
	10:00~ 10:10	評価尺度（事前）作成	
	10:10~ 13:00	Session 1 スーパービジョンを技術だけではなくスーパービジョン体制として理解する Session 2 包括的スーパービジョン体制を稼働させる	
	14:00~ 16:50	Session 3 スーパービジョン体制の構成理論 Session 4 スーパービジョン体制の様式・形態・課題	
	17:00~ 19:50	Session 5 組織におけるスーパービジョン体制の意義	
	19:50~ 20:00	アンケートの記入	
9/8 (日)	9:30~ 12:10	Session 6 スーパービジョンの計画作り 全体のまとめ・質疑応答	
	12:10~ 12:20	評価尺度（事後）作成	
	12:20~ 12:30	アンケートの記入	

2019年度ソーシャルワーク スキルアップ研修プログラム

スーパービジョン

日 時		内 容		講 師
2/9 (日)	10:00~ 10:10	開講挨拶	オリエンテーション	ソーシャルワーカー ・サポートセンター名古屋 浅野 正嗣
	10:10~ 12:10	講義	スーパービジョンの理論	
	13:10~ 14:45	講義・演習	支持的スーパービジョン	
	15:00~ 15:55	講義・演習	グループスーパービジョンの倫理と課題	
	15:55~ 16:15	まとめ		
	16:15~ 16:30	閉講挨拶		

インテグレイティブ・ショートターム・トリートメント（統合的短期型支援）

日 時		内 容		講 師
11/30 (土)	13:00~ 13:20	Session 1	グループ・自己紹介	講師 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女
	13:20~ 14:20		ソーシャルワーク理論と統合的短期型支援（ISTT）	
	14:20~ 14:50	Session 2	時代背景とソーシャルワーク理論を考える	
	15:00~ 17:00	Session 3	ソーシャルワークにおける理論の意義を理解する	
	17:10~ 18:40	Session 4	危機志向型 ISTT を理解する	
	18:50~ 19:50	Session 5	ISTT の展開過程の概要	
12/1 (日)	9:20~ 9:30	前日の振り返り		日本社会事業大学 小原真知子
	9:30~ 11:00	Session 6	ソーシャルワーク援助の対象者と介入を理解する	
	11:10~ 12:40	Session 7	ソーシャルワーク援助と ISTT の主要な特徴を理解する	
	13:40~ 16:00	Session 8	理論的根拠に基づいたアセスメント	

面接技術 ～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～

日 時		内 容	講 師
5/25 (土)	10:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 援助のプロセスと援助技法 エンゲージメントの段階で用いるスキル <ul style="list-style-type: none"> Anticipatory empathy ミラーリング イエスセット 援助の合意を得る一言 	東京福祉大学 中里 哲也 城山病院 山口 広作 横浜市立大学附属市民総合医療センター 篠原 直樹 北海道循環器病院 笠間 沙織
	13:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集段階で用いるスキル <ul style="list-style-type: none"> SFAの質問の型 GPの実践例 	
7/6 (土)	10:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> Good Practiceから学ぶ <ul style="list-style-type: none"> SFAを使って違ってきたこと、グッド・プラクティスを共有 SFA Q&A 例外を聞くことの意味 理解的な聞き方 <ul style="list-style-type: none"> AI (Appreciative Inquiry): EARS <ul style="list-style-type: none"> Elicit Amplify Reflect Start Over 	
	13:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉の理論の枠組みに沿った情報収集をSFAの質問の型を援用する 	
8/3 (土)	10:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> Good Practiceから学ぶ <ul style="list-style-type: none"> SFAを使って違ってきたこと、グッド・プラクティスを共有 SFA Q&A 	
	13:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントの段階の技術 <ul style="list-style-type: none"> アセスメントの枠組みに沿った聞き方 <ul style="list-style-type: none"> ライフ・モデル システム ソーシャルワーカーが理解したことを言語化する アセスメントと整合性のあるプランを立て、クライアントの合意を得る 解決志向と問題解決 	

退院支援ソーシャルワーク専門研修【東京会場】

日	時	内 容	講 師
9/7 (土)	13:00~ 13:10	オリエンテーション	研修統括事業部
	13:10~ 14:30	講義 入退院支援業務の概観 (入退院体制と支援チームとネットワーキング)	日本福祉大学 田中千枝子
	14:30~ 14:40	アイスブレイク グループ分け	佐原まち子
	14:40~ 15:50	演習 3局面振り返り	田中千枝子 佐原まち子
	16:00~ 17:00	講演 医療ソーシャルワーカーに望む退院支援	ゆみのハートクリニック 理事長 弓野 大
	17:00~ 18:00	講義 MSWとNSの協働による退院支援	三井記念病院地域医療連携室 退院支援看護師長 相馬 由子
	18:00~ 19:00	課題抽出と発表	田中千枝子 佐原まち子
9/8 (日)	9:00~ 9:40	講義 3局面と入退院体制、地域チームの機能とMSW役割	田中千枝子
	9:40~ 10:10	演習 自己評価ワークシート作成	田中千枝子
	10:20~ 11:20	演習 「自己評価」に関わるワールドカフェ	佐原まち子
	11:20~ 12:00	演習 明日からできること 決意表明	佐原まち子
	13:00~ 14:00	講義 退院支援におけるアセスメントの重要性	WITH 医療福祉実践研究所 佐原まち子
	14:00~ 16:00	演習 エコマップをアセスメントに活用する	佐原まち子
	16:00~ 16:30	全体フィードバック	佐原まち子 田中千枝子

退院支援ソーシャルワーク専門研修【鹿児島会場】

日 時	内 容	講 師	
11/16 (土)	13:00~ 13:10	オリエンテーション	研修統括事業部
	13:10~ 14:30	講義 入退院支援業務の概観 (入退院体制と支援チームとネットワーキング)	日本福祉大学 田中千枝子
	14:40~ 15:40	講演 医療ソーシャルワーカーに望む退院支援	ひさまつクリニック 院長 久松 憲明
	15:40~ 16:40	講義 MSW と NS の協働による退院支援	鹿児島大学病院 地域医療連携センター 退院支援担当看護師長 福田ゆかり
	16:50~ 17:00	アイスブレイク グループ分け	佐原まち子
	17:00~ 18:10	演習 3局面振り返り	田中千枝子 佐原まち子
	18:10~ 19:00	課題抽出と発表	田中千枝子 佐原まち子
11/17 (日)	9:00~ 9:40	講義 3局面と入退院体制、地域チームの機能と MSW 役割	田中千枝子
	9:40~ 10:10	演習 自己評価ワークシート作成	田中千枝子
	10:20~ 11:20	演習 「自己評価」に関わるワールドカフェ	佐原まち子
	11:20~ 12:00	演習 明日からできること 決意表明	佐原まち子
	13:00~ 14:00	講義 退院支援におけるアセスメントの重要性	WITH 医療福祉実践研究所 佐原まち子
	14:00~ 16:00	演習 エコマップをアセスメントに活用する	佐原まち子
	16:00~ 16:30	全体フィードバック	佐原まち子 田中千枝子

ソーシャルワークにおける就労支援

日 時	内 容	講 師	
1/25 (土)	10:00~ 10:05	開講挨拶	研修統括事業部
	10:05~ 11:05	就労の意義・現状・課題	筑波大学人間系生涯発達科学専攻 リハビリテーションコース 准教授 八重田 淳
	11:05~ 12:05	両立支援の政策的動向	厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 相談支援専門官 山崎まどか
	13:00~ 14:00	産業医の役割	ひたちなか総合病院 水戸健康管理センタ 医師 中谷 敦
	14:00~ 15:50	就労支援の実際と社会資源 脳卒中・がんを中心に	大阪労災病院 治療就労両立支援センター 本田 優子 広島文化学園大学 看護学部看護学科 教授 大塚 文
	15:50~ 16:50	演習	研修統括事業部
	16:50~ 17:00	アンケート記入	研修統括事業部

緩和ケアにおけるソーシャルワーク ～いのちに向き合う～

日 時	内 容	講 師	
1/26 (日)	10:00～ 12:00	基調講演 「いのち」に向き合うー緩和ケアの原点	関西学院大学大学院 藤井 美和
	13:00～ 13:10	オリエンテーション 研修意図	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	13:10～ 13:50	講義 怒りをどのように理解し 向き合い支援するか	静岡県立静岡がんセンター 福地 智巴
	13:50～ 15:30	演習 事例をもとに 個別性の把握・理解のための 「怒り」に関する知識 「怒り」に適切に向き合うための面接技術	田村 里子 福地 智巴
	15:40～ 16:00	講義 ソーシャルワーク：その支援の本質	田村 里子
	16:00～ 16:30	分かち合い&まとめ	田村 里子 福地 智巴

ソーシャルワークにおける臨床倫理

日 時	内 容	講 師	
7/28 (日)	10:00～ 11:00	講義 アドバンスケアプランニング：臨床倫理に基づく意思決定	東京大学 人文社会系研究科 次世代人文学開発センター 上廣死生学講座 特任教授 会田 薫子
	11:00～ 12:00	講義 「臨床倫理シート」による要点の整理と考え方	
	13:00～ 14:30	臨床倫理シートを用いた検討 (話題提供・質疑、グループワーク) 「本人にとっての最善とはどうすることなのか」	事例提供者 高知厚生病院 乾 亜矢 講師 会田 薫子 コーディネーター WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	14:40～ 16:00	講義 臨床倫理の基本：臨床倫理にもとづく相談支援	岩手保健医療大学 学長 清水 哲郎
	16:00～ 16:30	まとめ	倫理綱領検討担当チーム

「家族療法」についてのワークショップ

日 時	内 容	講 師	
5/26 (日)	10:00～ 11:00	家族とは	中村心理療法研究室 代表 中村 伸一
	11:00～ 12:00	家族療法とは 家族療法の適応 システム論とコミュニケーションモデル 家族の構造 家族の歴史を紐解く	
	12:00～ 12:30	DVD 演習 ジェノグラムワークを用いた面接	
	13:30～ 14:45	演習 ジェノグラムを用いて家族の歴史を紐解く	
	15:00～ 16:15	DVD による解説 ジェノグラムを用いて家族の歴史を紐解く	
	16:15～ 16:30	質疑 ディスカッション	

認知症高齢者へのソーシャルワーク支援

日 時	内 容	講 師	
11/23 (土)	9:55～ 10:00	オリエンテーション	研修統括事業部
	10:00～ 12:00	基本的な医学知識と最新情報 ～認知症の方を理解するために	国立病院機構北海道医療センター 精神科医長・認知症疾患診断センター 副委員長 医師 上村 恵一
	13:00～ 15:20	事例を通して学ぶ 退院援助と院外連携	東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター 認知症支援担当係長 畠山 啓
	15:30～ 16:30	権利擁護 ～成年後見と意思決定への支援	政池・飯田法律事務所 弁護士 飯田真奈美

2019 年度人材開発・養成講座プログラム

日 時	内 容	講 師	
2/2 (日)	10:00～ 10:10	オリエンテーション	日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女
	10:10～ 10:30	研修の目標設定 ディスカッション	
	10:30～ 12:00	講義 人材養成とスーパービジョン 新人対象 新任対象	
	12:00～ 13:00	昼 食	
	13:00～ 14:00	事例1セッション演習	
	14:10～ 15:10	事例2セッション演習	
	15:20～ 16:30	まとめ フィードバック	

2019年度 人権擁護とソーシャルワーク研修

支援力を高め、明日につなごう！ HIV陽性者の「当たり前」の暮らしが守れる社会へ プログラム

【愛知会場】

担当：社会貢献事業部

日 時	内 容	講 師	
10/6 (日)	9:30～ 9:35	開会あいさつ 趣旨説明	
	9:35～ 9:50	講義1 HIV感染症の医療体制の整備について	名古屋医療センター 感染症内科 医師 横幕 能行
	9:50～ 10:30	講義2 HIV感染症の基礎知識	名古屋医療センター 感染症内科 医師 今橋 真弓
	10:30～ 11:10	講義3 HIV感染症看護と感染対策	神戸医療センター 看護師 安尾 有加
	11:10～ 11:50	講義4 当事者からの声	社会福祉法人はばたき福祉事業団 武田飛呂城
	12:50～ 14:05	講義5 HIV陽性者への支援と人権擁護	東京医科大学病 MSW 藤平 輝明
	14:05～ 15:45	演習 グループワーク	進行 千葉大学医学部附属病院 MSW 葛田 衣重
	15:45～ 16:00	まとめ アンケート記入	

地域で暮らすHIV陽性者の療養生活を支える ～医療ソーシャルワーカーにできること～ プログラム

【大阪会場】

日 時	内 容	講 師	
10/26 (土)	10:00～ 10:05	オリエンテーション	
	10:05～ 11:05	講義1 血友病/HIV/AIDSの基礎知識	大阪医療センターHIV/AIDS 先端医療開発センター 医師 廣田 和之
	11:05～ 12:05	講義2 HIV陽性者を支える社会資源	大阪医療センター MSW 岡本 学
	13:15～ 13:45	講義3 薬害エイズを語る	大阪HIV薬害訴訟原告団 理事 森戸 克則
	13:45～ 14:50	パネルディスカッション HIV陽性者の療養支援と地域連携 <パネリスト> 堺平成病院 地域連携室係長 青野 沙貴 千里中央病院 地域医療連携室課長代理 渡邊 成吾 近畿大学病院 MSW 新城美香子	
	15:05～ 17:00	演習 グループディスカッション	

2019年度身寄りがない患者受け入れマニュアル作成に資する研修プログラム

【東京会場】

担当：社会貢献事業部

日 時	内 容	講 師
11/10 (日)	10:00～ 11:00	身寄りのない人の入院及び医療にかかる法的問題 熊田法律事務所 弁護士 熊田 均
	11:10～ 12:10	成年後見制度利用について いけだ権利擁護支援ネット 代表 池田恵利子
	13:10～ 15:50	マニュアル作成演習 患者本位の医療提供のために 江南厚生病院 地域医療福祉連携室 MSW 野田 智子

【京都会場】

日 時	内 容	講 師
12/15 (日)	10:00～ 11:00	身寄りのない人の入院及び医療にかかる法的問題 熊田法律事務所 弁護士 熊田 均
	11:10～ 12:10	成年後見制度利用について いけだ権利擁護支援ネット 代表 池田恵利子
	13:10～ 15:50	マニュアル作成演習 患者本位の医療提供のために 江南厚生病院 地域医療福祉連携室 MSW 野田 智子

2019年度人生最終段階における意思決定支援研修会プログラム

【東京会場】

担当：調査研究事業部

日 時	内 容	講 師
10/19 (土)	10:00～ 10:30	講義1 研修の意義とアイスブレイク（事前課題使用） 西岡病院 岡村 紀宏
	10:30～ 12:00	講義2 アドバンス・ケア・プランニングの地域への展開について 国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部・在宅連携医療部 医師 西川 満則
	13:00～ 14:30	講義3 人生の最終段階における「つなぐ」連携 みその生活支援クリニック 院長 小野沢 滋
	14:45～ 16:15	講義4 意思決定に関する法的知識 きのした法律事務所 弁護士 木下正一郎
	16:30～ 18:00	講義5 チーム医療で行う人生の最終段階の意思決定支援 WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
10/20 (日)	9:00～ 10:30	講義6 アドバンス・ケア・プランニング～意思決定の支援 東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田 薫子
	10:45～ 12:15	講義7 人生の最終段階における臨床倫理と相談のあり方 岩手保健医療大学 学長 清水 哲郎
	13:00～ 14:30	講義8 人生の最終段階の支援～地域展開・連携 西岡病院 医療ソーシャルワーカー 岡村 紀宏
	14:40～ 16:40	講義9 人生の最終段階における意思決定支援の実際 WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
	16:40～ 17:00	アンケート記載 調査研究事業部

【新潟会場】

日	時	内 容	講 師
11/23 (土)	10:00～ 10:30	講義1 研修の意義とアイスブレイク（事前課題使用）	西岡病院 岡村 紀宏
	10:30～ 12:00	講義2 アドバンス・ケア・プランニングの地域への展開について	国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部・在宅連携医療部 医師 西川 満則
	13:00～ 14:30	講義3 人生の最終段階における「つなぐ」連携	望星大根クリニック 院長 谷亀 光則
	14:45～ 16:15	講義4 意思決定に関する法的知識	きのした法律事務所 弁護士 木下正一郎
	16:30～ 18:00	講義5 チーム医療で行う人生の最終段階の意思決定支援	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
11/24 (日)	9:00～ 10:30	講義6 アドバンス・ケア・プランニング～意思決定の支援	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田 薫子
	10:45～ 12:15	講義7 人生の最終段階における臨床倫理と相談のあり方	岩手保健医療大学 学長 清水 哲郎
	13:00～ 14:30	講義8 人生の最終段階の支援～地域展開・連携	西岡病院 医療ソーシャルワーカー 岡村 紀宏
	14:40～ 16:40	講義9 人生の最終段階における意思決定支援の実際	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
	16:40～ 17:00	アンケート記載	調査研究事業部

2019年度 老健ソーシャルワーク研修会 プログラム

担当：調査研究事業部

日	時	内 容	講 師
9/29 (土)	9:50～ 10:00	開会	調査研究事業部
	10:00～ 11:20	講義1 在宅ケアの拠点として介護老人保健施設の支援相談員に求めること	全国老人保健施設協会 常務理事 小川 勝
	11:20～ 13:00	講義2 組織の中で介護老人保健施設の支援相談員に求めること	高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本 雅彦
	14:00～ 16:30	ワールドカフェ 1. 在宅復帰・在宅療養支援等指標への課題と対応 2. 具体的な地域連携活動と空床への対応 3. 次回、介護報酬改定への要望	調査研究事業部
	16:30～ 16:40	閉会	調査研究事業部

2019年度 在宅医療ソーシャルワーク研修会 プログラム

担当：調査研究事業部

日 時	内 容	講 師	
6/30 (土)	10:00～ 10:05	開会	調査研究事業部
	10:05～ 11:35	講義1 在宅医療と地域づくり	日本社会事業大学専門職大学院 福祉マネジメント研究科 教授 ／つるかめ診療所 副所長 鶴岡 浩樹
	11:40～ 12:10	講義2 在宅医療ソーシャルワーカーに関する当協会の取り組み	オレンジホームケアクリニック 医療ソーシャルワーカー 西出 真悟
	13:10～ 16:25	講義3&グループワーク 在宅医療実践報告～医師とMSWの連携～	医療法人社団青い鳥会上田クリニック 院長 堤 直也 医療ソーシャルワーカー 上田まゆら
	16:25～ 16:30	閉会	調査研究事業部

2019年度フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会プログラム

【大阪会場】

担当：組織運営部

日 時	内 容	講 師	
5/12 (日)	10:00～ 10:10	事務連絡・開会挨拶	組織運営部
	10:10 ～11:00	研修講座Ⅰ 「知っておきたい社会資源」	北海道がんセンター 木川 幸一
	11:00～ 12:00	研修講座Ⅱ 「多職種連携入門」	白鷺病院 藤田 譲
	13:00～ 14:00	近隣府県協会の会長からのご挨拶	兵庫県医療ソーシャルワーカー協会 会長 谷 義幸 京都医療ソーシャルワーカー協会 会長 巖 弥生子 和歌山県医療社会事業協会 会長 西田 紀子 大阪医療ソーシャルワーカー協会 代表理事 藤田 譲
	14:15～ 16:15	研修講座Ⅲ 「理想のワーカー像とは？ ～新人の 新人による 新人のための集い～」	高槻病院 内藤 愛 明舞中央病院 浅井 充子
	16:30～ 17:00	振り返り・インフォメーション・アンケート記入	組織運営部

【東京会場】

日 時	内 容	講 師	
7/14 (日)	10:00～ 10:10	事務連絡・開会挨拶	組織運営部
	10:10～ 11:00	来賓挨拶	東京都医療社会事業協会 会長 田上 明 千葉県医療ソーシャルワーカー協会 会長 柳田 月見 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 佐野 晴美 群馬県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中井 正江
	11:00～ 12:00	研修講座Ⅰ 「知っておきたい社会資源」	横浜市立大学附属市民総合医療センター 杉本 彩
	13:00～ 14:00	研修講座Ⅱ 「新人医療ソーシャルワーカーへのメッセージ」	介護老人保健施設シーダ・ウォーク 関田 歩
	14:15～ 16:15	研修講座Ⅲ 「多職種連携入門」	白鷺病院 藤田 譲
	16:30～ 17:00	振り返り・インフォメーション・アンケート記入	組織運営部

【北海道会場】

日 時	内 容	講 師	
9/1 (日)	開始前	事務連絡・開会挨拶	組織運営部
	10:00～ 11:00	研修講座Ⅰ 「知っておきたい社会資源」	NTT 東日本札幌病院 清野 圭司
	11:00～ 12:00	研修講座Ⅱ 「フレッシュMSW へのメッセージ」	北海道がんセンター/ 北海道医療ソーシャルワーカー協会 会長 木川 幸一
	13:00～ 14:30	研修講座Ⅲ「MSW 記録」	国立病院機構神奈川病院 水野 茂樹
	14:45～ 16:30	研修講座Ⅳ「新人時代は〈連携〉で乗り切れ！」	白鷺病院 藤田 譲
	16:30～ 17:00	振り返り・インフォメーション・アンケート記入	組織運営部